



World YMCA NEWS

2019
5

若者に向けた気候変動問題に関するメッセージ

世界YMCA同盟総主事 カルロス・サンヴィー氏

気候変動の影響によって、将来の生活が脅かされる若者たちが、国際社会に対して気候変動対策に取り組むよう、声を上げ始めています。北欧の一人の若者が学校の授業を欠席する「学校ストライキ」によって気候変動の危機を訴えたアクションが、世界中に広がっています。

気候変動対策に対する若者たちによる「学校ストライキ」というアクションに、私は世界同盟総主事として強く共感しています。世界中の若者たちが、自分の信じること、未来の地球のため、そして彼ら自身のために自発的に立ち向かう姿に、深く心が動かされました。

若者たちは「学校ストライキ」は大人たちが環境を破壊してきたこと、環境を守るための施策が十分に行われてこなかったことに対する抗議であり、自分たちはその代償を払うことになることを主張しています。まさに指摘の通りだと思います。

私は、異常気象や海抜の上昇、気温の上昇などの気候変動の影響が世界中に広がり、次第に悪化していることを実感しています。私たちの大地、食糧や水に与える影響は、今後、予想できないスケールで人々に災害や、欠乏、大量の難民、経済破壊を生み出すでしょう。

国連のレポートでは、私たちに残された猶予期間は、わずか12年だと警告しています。若者たちが政府に対し、「緊急事態であると公表すること」、「危機の重要性について話し合うこと」、「学校で環境教育の優先順位を高めカリキュラムを増やすこと」を要求するのはもっともなことだと考えます。

これまでのように何もしないままだと、未来はどうなってしまうのか、正確に予想することはできません。しかし、良くないということは分かります。ストライキをする若者たちは未来の人生に何が待ち構えているのか分からず、怯えています。そして大人たちが、問題の緊急性を隠し、政治的な私欲のために動いたり、短期的な目標しか立てないことに憤慨しています。

若者のエンパワーメントのひとつとして、特に気候変動に対する若者の参画を促すことはYMCAが果たすべき役割です。若者の情熱や勇気、そして粘り強さは未来への希望です。

若者が自分自身やコミュニティに影響する社会問題に全力で取り組んだとき、本当の意味で世界が変わり始めるでしょう。若者のアクションに世界が注目することが、取り組みをやり抜く力になります。若者は自分たちが世界を変えるための力や可能性を秘めていることに気づいています。それが、今のリーダーをも超える未来のリーダーを育てます。

世界YMCA同盟総主事として、アクションを起こした若者をたたえ、YMCAが心から応援していることを彼らに伝えます。私たちは若者の目的を支援し、現在の政治家やリーダーの失敗に対して行動することを称賛します。YMCAは、あなた方と共に、権力者に対して、この地球を持続させ、気候変動に対して確実な行動を起こすよう訴えます。

世界YMCA同盟ホームページより

<https://www.ymca.int/message-youths-involved-climate-change-protests-secretary-general-world-alliance-ymcas/>

南米・ベネズエラ人道危機対応支援

－ ラテンアメリカYMCA総主事報告



ベネズエラの市民たち

南米・ベネズエラで起こっている人道危機は、かつてないほど大きな問題となっています。

国際通貨基金（IMF：Internet Message Format）は、ベネズエラの年間インフラ率が10,000,000%（一千万%）であると見積もり、ベネズエラにあるカラカス中央大学のレポートでは、国民の60%が平均10kgもの体重が減少したと報告し、国連食糧農業機関

（FAO）はここ数ヶ月の食糧不足によって、飢餓と栄養失調になる人が増えていると発表しました。また、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と国際移住機関（OIM）は、ベネズエラからの移民、難民が世界中に300万人に及ぶと公表しました。

ベネズエラの人々は飢餓、治安の悪化、貧困問題の渦中にいます。数百万人もの人々が自分の家を手放し、安全を求めて他国に避難しており、ベネズエラ史上最大の人々の移動が起こっています。

ベネズエラの人々に人道的な支援をするため、そしてコロンビア側の国境で行われるライブエイドコンサートに出席するために、1日で何千人もの人々がククタへ向かいました。この大移動はニコラス・マドゥロ大統領と野党の間の緊張感を高め、国境の閉鎖や暴力的な対立の結果、すでに多くの犠牲者を出しています。

このような事実を受け、公平で平等なコミュニティを築くために、ベネズエラYMCAは活動をしています。

世界YMCA同盟ホームページより

<https://www.ymca.int/news-archives/page/2/>

ラテンアメリカ・カリブ海YMCA同盟
ホームページより

<https://www.lacaymca.org/public/en/ymca-con-venezuela/>

地域コミュニティの柱となっているベネズエラYMCAですが、首都、カラカスのいくつかの設備は国により没収され、しばしば起こる停電によって、ネットワークや機材が使用できないこともあります。極端なインフレーションによって、多数のYMCAスタッフは仕事を失い、他国への移住を余儀なくされました。

YMCAのスタッフ、ボランティア、参加者は飢餓や町の治安の悪化、その他、さまざまな問題に直面しています。このような悲惨な状況下でも、YMCAは多くの若者や家族の希望であり続けています。

世界のYMCAもベネズエラを支援しています。コロンビアのボゴタYMCA、チリのサンティアゴYMCA、ペルーYMCAはベネズエラYMCAから複数のスタッフを職員として迎え入れました。アルバYMCAはベネズエラから移住してくるたくさんの子どもたちのためにプログラムを行いました。そしてクリスマスにはベネズエラのカラカスYMCAとバレンシアYMCAのスタッフに必要な食料とその他の生活用品を詰めたクリスマスバスケットを私たちの想いと共に届けました。

日々の教会での祈りやベネズエラを支援する一人ひとりにも感謝します。このような自発的な行いはベネズエラの内外にいる私たちの仲間の連帯、感謝、愛情の証です。

それと同時に、真摯に力を尽くしてきたベネズエラYMCAのスタッフのリーダーシップをたたえます。ベネズエラの重大な局面において、スタッフ一人ひとりが子ども達やユースを導くというミッションを強く守り続けたことに感謝します。

彼らのために祈りを続けてください。皆様の連帯に感謝します。

（ラテンアメリカ・カリブ海YMCA同盟総主事
ロドリゴ・アントニオ氏）

バスケットボール教室

— 米国・ロームYMCA



米国・ニューヨーク州にあるロームYMCAはここ8年間、地域の未就学児から小学2年生を対象としたバスケットボール教室(Learn-to-Play)を開いています。

ロームYMCAのブルース・ヘアーストンさんは、「この教室では、ほとんどの子どもたちは初めてバスケットボールを経験します。楽しく参加し、基本的な技術を身に着けることを目的としています。」と言います。

ヘアーストンさんは、地元の青少年スポーツクラブの女子代表選手であったアリサ・ルベックさんの助けを借りながら、この8年間ずっとバスケットボール教室を運営してきました。最近では、近隣のスポーツクラブの男子と女子のチームの選手から教室のためのボランティアを募っています。今年はいつより多くのボランティア参加者が集まりました。

ヘアーストンさんは、チームのコーチの力が大きいと言います。男子・女子それぞれのチームのコーチがボランティアの大切さを理解して、選手たちを送り出してくれました。

このように地域の異なる団体が協力することは、ロームのコミュニティにおいてとても良い取り組みとなります。若者により良い影響を与え、成長の機会を提供することができ、また、子どもたちは、自信を身に着け、若者たちを良き模範として育つことにつながります。

今のボランティアの中には子どもの頃に教室に通っていた若者もいます。ヘアーストンさん自身も、来年度にはロームYMCAの家族サービス部門のディレクターのケージー・グレゴリーさんに役割を引き継ぐことを予定しています。

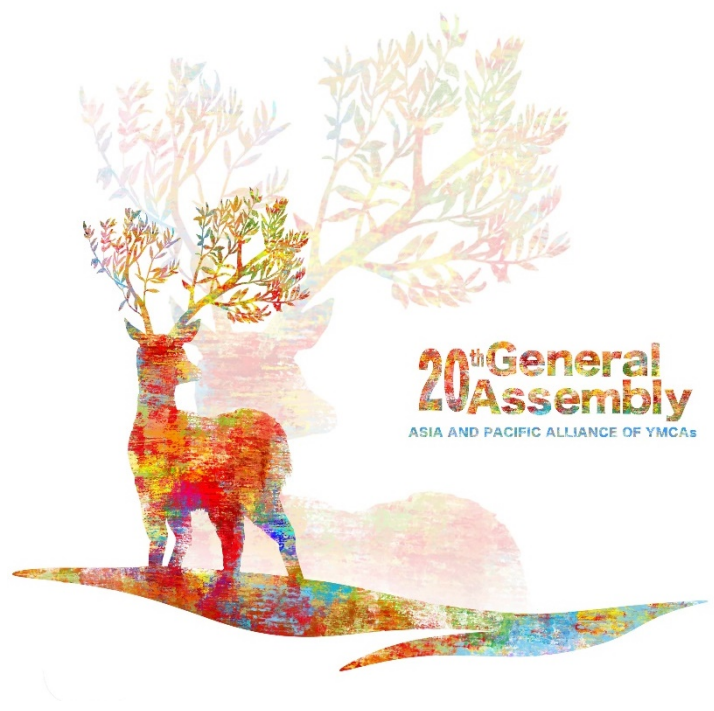
ロームセンチネル（地元紙）ホームページより
<https://romesentinel.com/stories/learn-to-play-basketball-clinic-at-rome-ymca-comes-full-circle,73214>

アジア・太平洋YMCA大会

大会ロゴ決定

「Living Together Within Nature on a Path to Peace -自然の恵みに抱かれ、平和に向かって共に生きる」をテーマに私たちが自然の一部として暮らしを営み、平和と調和のとれた社会へと導くために何ができるかを考えます。

この大会のロゴが決まりました。ユース・アッセンブリーは8月31日から、本大会は9月2日から行われます。



World
YMCA
NEWS
2019.5

発行
2019年5月1日
日本YMCA同盟
03-5367-6640
info@ymcajapan.org